



キュウリの選果を見学



トラックに積み込みをする生産者と同実行委員ら

施設見学で地域農業を学ぶ

ちゃぐりんキッズフェスタ

2019ちゃぐりんキッズフェスタが8月7日、北部農業技術開発センターとJA東部園芸センターで行われました。管内で生産された野菜の集荷場や選果の様子を見学し、地域農業を学びました。いわて平泉米でオリジナルおむすびを握り、一関産野菜といわて南牛の焼き肉で地元食材を味わいました。ちゃぐりん記事活用では牛乳パックで工作を楽しみました。

さわやかな高原の香りを届けます

一関ふるさと便出発

一関市とJAで構成する一関ふるさと便事業実行委員会は8月1日、一関・花のふるさと便出発式を開きました。事前に申し込みを受けたJA管内で生産されたリンドウやジュースなどを全国に発送し、さわやかな高原の香りを届けました。同実行委員会副会長でJAの佐藤鉦一組合長は「一関のファンが全国にいることを改めて認識し、一関の産地化に向けて取り組みたい」と話しました。

NEWS

園芸だよ! 全員集合

JAでは園芸だよ! 全員集合を8月18日に開き、管内の圃場を現地見学しました。15人が参加し生産者の声を聞き、今後の農業従事者に役立てます。



情報共有で今後の管理に意欲

JAトマト部会は8月20、22の両日、管内の生産者5会場で現地座談会を開き、生育状況を確認しながら今後の安定出荷に向け栽培管理を確認しました。



いわて南牛枝肉共励会

第11回いわて南牛枝肉共励会出発式が7月27日に行われ、36頭を出品しました。30日の共励会では名誉賞に佐々木信行さん(花泉)が輝きました。



市場や関係らと連携し安定出荷へ

JAは8月9日、令和元年度リンゴ・梨販売対策会議を開き、市場関係者と販売状況などを協議しました。長期安定出荷で信頼と販売拡大を図ります。





ピーマン中間検討会で視察研修

J Aピーマン部会は8月23日、中間検討会に合わせて圃場研修会を開きました。圃場を視察し生育状況や肥培管理を確認しました。



早めの収穫を

J Aりんご部会は8月23日、早生収穫指導会を開きました。早生品種は収穫期に入ったら早く収穫することなどを指導しました。



収穫適期を逃さないで

J A果樹部会梨専門部は8月22日、梨出荷目揃会を開き、収穫時と出荷時の注意事項や品種ごとの搬入期間などを確認しました。



管内産のトマトでビールを醸造

世嫡の一酒造(株)は管内産のトマトを使った新商品トマトビール「真っ赤なトマト〜トマトエール〜」の仕込みを行い、全国地ビールフェスティバルin一関で販売しました。



ジャガイモを収穫体験

J A女性部川崎中央支部は7月29日、あぐりキッズを開き、小・中学生がジャガイモと枝豆の収穫体験をしました。



暑い夏はビールで乾杯

J A一関青年部中里支部は7月27日、生ビール大会をJ Aの旧中里支店駐車場で開きました。中里鶏舞踊隊の舞などで盛り上がりました。



地域農業を維持していくために

J Aは8月21日、集落営農組織法人化研修会を開きました。広島大学の小林元助教が「集落営農組織の設立と農地の守り方」と題して講演を行いました。



各地域でヘリ防除実施

8月上旬から中旬にかけて各地域では、ラジコンヘリコプターによるカメムシ防除を行いました。



米寿祝いのそば殻枕進呈

J Aハートフル花泉支部は会員30人が手作りするそば殻入りの「手作り健康枕」を8月22日、花泉総合福祉センターを訪問し進呈しました。



「いわて南牛ネギ塩餅」が大人気

花泉夏まつり「日本一のもちつき大会」が8月4日行われ、J A役職員チームが参加しました。「いわて南牛ネギ塩餅」「冷製桜餅」「あんこ餅」を振る舞いました。



「みんなのほいくえん」がJ A組合長賞に

縄文の炎・藤沢野焼祭2019が8月10、11の両日行われ、新沼保育園(藤沢)の共同作品「みんなのほいくえん」がJ A組合長賞に選ばれました。



くるくる踊り大パレードに参加

一関夏まつりくるくる踊り大パレードが8月3日に行われ、J A女性部とJ A役職員約70人が参加し手踊りを披露。管内産の花をプレゼントしPRしました。